

四條畷市福祉計画検討委員会 議事録(障がい福祉課)

日時:令和 4年8月3日(水)午後3時10分～3時30分

於:四條畷市市民総合センター 展示ホール

<出席委員>小寺委員長・守屋副委員長、志村委員、廣瀬委員、前原委員、北井委員、北口委員、福井委員、太地委員、中原委員、橋垣委員、平山委員、田中委員、森田委員

【事務局】

障がい者基本計画(第3期なわて障がい者プラン)及び障がい福祉計画(第6期四條畷市障がい福祉計画・第2期四條畷市障がい児福祉計画)の進捗状況に関する資料をもとに説明を行う。

「第3期なわて障がい者プラン」および「第6期四條畷市障がい福祉計画・第2期四條畷市障がい児福祉計画」の進捗状況について

施策目標1

＊第6期四條畷市障がい福祉計画・第2期四條畷市障がい児福祉計画 P62～P63

1 差別の解消及び権利擁護等の推進

- (1) 障がい者に関する知識の普及・啓発
- (2) 障がいを理由とする差別の解消の推進
- (3) 権利擁護等の推進

■実績(R4.6.30現在)

- ①障がい者虐待防止センターでの24時間365日相談受付 2件受付
- ②障がい者差別に関する相談対応 1件
- ③特定相談連絡会にて計画相談の依頼 10件

■課題

- ①障がい者の権利擁護の推進のための啓発
- ②障がい者虐待防止センターと障がい者差別解消支援地域協議会の機能強化
- ③計画相談の推進

■今後の方向性

- ①虐待ネットワーク会議の開催
- ②虐待、差別解消、成年後見に関する研修会の実施
- ③障がい者差別解消支援地域協議会での差別事案や啓発活動等の具体的取組みの検討
- ④計画相談支援の推進
- ⑤障がい者週間での啓発
- ⑥子ども手話事業の実施

施策目標2 一人ひとりの個性や可能性を育む環境の整備

＊第6期四條畷市障がい福祉計画・第2期四條畷市障がい児福祉計画 P64～P65

- (1) 保育・幼児教育の充実
- (2) 学校教育の充実
- (3) 教育相談体制の充実
- (4) 児童・生徒の日中活動支援・居場所づくり
- (5) 教職員の資質の向上
- (6) 障がい児政策等の充実

■実績

- ①児童発達支援センターでの保育所等訪問支援事業、障がい児計画相談、巡回相談、就学後の相談、研修会の実施
- ②児童発達支援センターでの理学療法士、作業療法士によるリハビリテーションの実施、言語聴覚士による相談・助言の実施
- ③放課後デイサービス・児童発達支援事業所の維持
R2.3末：11か所 R3.3末：11か所 R4.6末：11か所
- ④R4年度より、通学支援費に加算

■課題

- ①医療的ケア児支援の体制整備
- ②児童発達支援センターの機能強化
- ③児童の短期入所施設の整備
- ④通学支援制度の対応する事業所の確保
- ⑤放課後デイサービス事業所の機能強化

⑥保護者支援の充実

⑦居宅訪問型児童発達支援の提供

■今後の方向性

①児童発達支援センターが中核的機能を果たすために、相談支援の充実、保育所等訪問支援の推進、ペアレントトレーニング等による機能強化

②通学支援ガイドヘルパー養成研修の実施

③医療依存度の高い重症心身児者に関する協議の場における医療的ケア児に関する調整機能の充実（医療的ケア児等コーディネーター配置に努める）

④つながりシート、サポートシート等を活用した関係機関と連携、継続支援の強化

施策目標3 いきいきと活躍できる環境づくり（社会参加の促進）

＊第6期四條畷市障がい福祉計画・第2期四條畷市障がい児福祉計画 P66～P69

（1）就労に必要な技能の習得・向上支援

（2）就労支援

（3）就労の場の拡充

（4）多様なニーズに対応した日中活動

（5）生涯を通じた学習・レクリエーション活動の支援

（6）外出・コミュニケーションの支援

■実績

①障がい者優先調達指針の策定と結果の公表

調達実績 R1：2,758,087円 R2：2,321,628円 R3：3,938,534円

②手話奉仕員養成講座（市民向け）の開催

初級：14名受講 上級：11名受講

③広報にて定期的な手話コラムの掲載

④市ホームページでの手話動画の掲載

■課題

①就労移行等への支援（一般就労への移行促進）

②工賃向上への取組み強化

③コミュニケーション事業の充実

④移動手段の確保

■今後の方向性

- ①就労支援事業所の確保、就労後の定着支援
- ②障がい者優先調達指針の推進
- ③障がい者サロン等の啓発、事業内容の見直し
- ④ガイドヘルパー養成研修の実施
- ⑤地域活動支援センター事業の実施

施策目標4 生活の質（QOL）を高める生活支援の推進

＊第6期四條畷市障がい福祉計画・第2期四條畷市障がい児福祉計画P70～P72

- (1) 障がい福祉サービス等の充実
- (2) 相談・情報提供体制の充実
- (3) 人材の育成・研修
- (4) 障がいのある人の自立を支援する計画的なケアマネジメントの推進
- (5) 健康の保持・増進

■実績

- ①地域活動支援センター事業開始に向け準備中
- ②計画相談の推進

	障がい者総合支援法分				児童福祉法分			
	障がい福祉サービス受給者数	計画作成済み人数	セルフプラン	計画相談支援支給決定率%	障がい児通所支援受給者数	計画作成済み人数	セルフプラン	計画相談支給決定率%
R2.3	560	277	283	49.4	316	131	185	41.4
R3.3	576	293	283	50.8	343	139	204	40.5
R4.3	582	296	286	50.8	342	137	205	40.0

- ③精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る協議の場の開催

■課題

- ①地域移行のサポート体制の強化
- ②計画相談の推進
- ③必要とする事業所の確保

■今後の方向性

- ①事業所増加への働きかけ
- ②地域移行のアプローチを考えるPTにて作成したリーフレットの配布
- ③障害サービス関係機関と介護保険サービス関係機関の連携強化PTの開催

施策目標5 暮らしの安心・安全を守るまちづくりの推進

＊第6期四條畷市障がい福祉計画・第2期四條畷市障がい児福祉計画P73～74

- (1)福祉のまちづくりの推進
- (2)緊急時の安心・安全の確保
- (3)地域で助け合い・支え合いの推進

■実績

- ①避難行動要支援者名簿の更新
名簿の整備と関係機関への名簿の情報提供についての同意
- ②聴覚障がい者への市公式LINEの登録の呼びかけ

■課題

- ①個別支援計画の策定
- ②障がい者理解への働きかけ

■今後の方向性

- ①障がい者への理解啓発
- ②防災ハンドブックの作成

質疑応答

【委員長】

4 ページ、障害サービス関係機関と介護保険サービス関係機関の連携強化PTの開催について。65歳問題と言われてるところはここに記載あるので取り組まれていると思うが、18歳問題は？児童福祉法から総合支援法へ移行するとき、特に放デイ利用者が支援学校等卒業して放課後デイ

がないから、生活介護へと移行することになるが、夕方に空白の時間が起きる。そこでヘルパーをイレギュラーで利用して、子どもの生活リズムが乱れるなんてことが起こる。18歳問題は どうしているのか。

【事務局】

サービス利用者については、高校卒業後、就 B とか生活介護などの日中活動後、ヘルパーを利用し入浴支援をしてもらったり、日中一時の利用をしているケースもあります。ただ、就労した人などサービス利用がない方の居場所がないことは課題として認識しています。

【委員長】

プロジェクトチームまでは立ち上げていないのか。個別ケースでの対応か。

【事務局】

個別ケースでの対応をしています。

【副委員長】

全然関係ない話だが、ICT サポートシンポジウムの研修を受けた。IT の世界は進んでいる。Windows10 には無料で音声認識機能がついている。誤字も少ない。スマホ使っている人はスキャンすれば文字を音声読み上げもしてくれる。それも無料。補助具でいっぱい高いものを買わされるが、こういうものの啓発をお願いしたい。四條畷は遅れているように感じる。情報提供です。

【委員長】

ペーパーレスなどの取り組みは各所しているが、四條畷はどっちかというに進んでいる。

【事務局】

ご要望ありがとうございます。

本市は国のデジタル庁が出来てからDX計画で特別委員会を立ち上げています。ICT の使い方はいろいろあるので、市政でどうすれば効果的なのか特別委員会で話しています。内容が決まれば市から順次周知します。